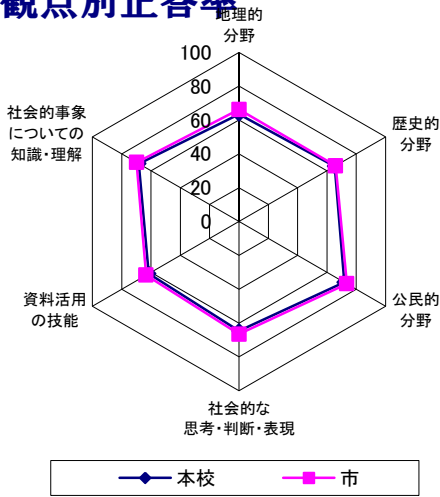


宇都宮市立陽南中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	63.5	66.2	58.0
	歴史的分野	65.2	65.8	60.8
	公民的分野	71.8	73.5	69.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	64.6	66.6	58.6
	資料活用技能	61.5	63.4	55.9
	社会的事象についての知識・理解	68.3	69.8	64.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
（社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	●世界の諸地域では、地図上に表された地形の情報をもとに、地形の断面図を大まかに描くことを苦手とする生徒が多く、市の平均より9.5ポイントも正答率が低い。 ●複数の情報が表されたグラフの読み取りと、複数のグラフから読み取ったことの関連付けが、前年度からの課題であり、市の平均より4ポイント程度正答率が低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの 世界の諸地域の学習で、各州の自然環境を概観する授業の中で、地図帳などを利用し、平面の地図情報から地形の凹凸をとらえるような活動を組み込む。また地形図の学習で、地形断面図の作成の活動を丁寧に取り上げ、習得できるようにする。 教科書の統計、グラフの解説を丁寧に言い、グラフの読み取った情報の関連性を説明する活動を取り入れる。
歴史的分野	○前年度と比べ、歴史分野全体の正答率が市の平均正答率に近づいている。 ●資料活用技能に関する問題や、資料から読み取ったことをもとに考える問題の正答率が市の平均と比べ、4ポイント程度低い。	わかりやすい授業、小テスト、問題演習により、さらに基礎・基本の定着が図れるようにする。 複数のグラフを関連付けながら、情報を読み取る活動を多く取り入れ、資料活用技能の向上に努める。
公民的分野	●地方自治における直接請求権、公共の福祉に関する問題の正答率が市の平均と比べて著しく低い。	政治分野の正答率が低いことから、基礎・基本の定着が課題である。生徒の関心が高まる教材研究、分かりやすい授業の展開、小テストの実施、問題演習の繰り返しによって、基本的な用語をしっかりと身に付けさせる。